DISK SYSTEM
ファミリーコンピュータ ディスクシステム

GTS-PSD

Panic Space

ファミマガ Disk Vol.2

プレイの前に

ディスクカードをセット

ファミリーコンピュータ本体とディスクシステムを接続しスイッチを入れます。ディスクカードをセットするとタイトルが表示されるのでスタートボタンを押します。「SET SIDE B」と表示されたらディスクカードを裏返します。

いよいよプレイ

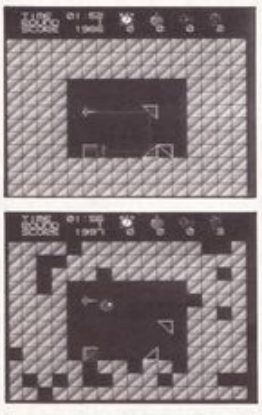
モードを選択

ディスクカードを裏返したらモードの選択です。モードは「ゲームモード」「パズルモード」「エディットモード」の3種類があります。また、ゲームのデータのセーブもこの画面で行います。モードの選択は十字ボタン、決定はⒶボタンです。

名前を入力

「ゲームモード」ではプレイ前に名前を入力できます。5人分まで登録でき、1～5までの任意の番号を選択し、入力します。また「パズルモード」「エディットモード」で最少手数でクリアしたときも名前を登録できます。入力は十字ボタン上下で文字、左右で桁を選択、Ⓐボタンで決定です。

ゲームの目的

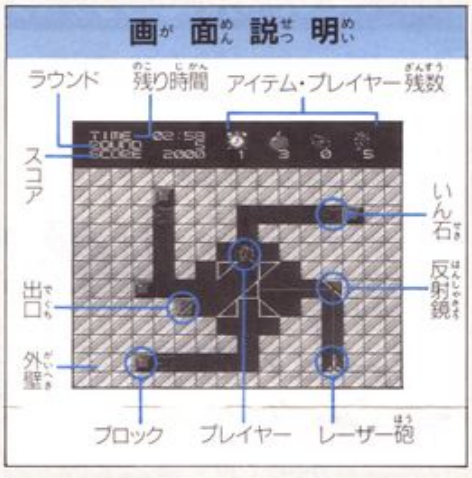


ゲームの第1の目的はレーザー砲の放つレーザーを出口に導いて出口を開けて脱出することです。しかし、外壁などにレーザーが当たってしまうとミスになりプレイヤーの残数が1人減ってしまいます。詳しいルールは以下で説明します。

ゲームモード

このモードは全50面を1面から順番にクリアしていきます。「パズルモード」と違いアイテムがあるので有効に利用してください。なお、このモードでは各面ごとに制限時間が定められていて、時間がなくなるとミスです。スコアは手数、壊したいん石の数、残り時間で決められます。

画面説明



アイテムの効果

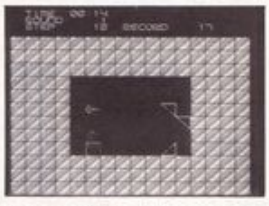
時計		使用するとそのラウンドではタイムがそれ以上減らなくなる
爆弾		プレイヤーの正面にあるブロック・反射鏡・レーザー砲を破壊できる
ブラックホール		一定時間レーザーを吸収し、レーザーが外壁などに当たるのを防ぐ

各ボタンの使い方

ボタン	ネームセレクト画面	ゲーム画面
Aボタン	選択事項の決定をするときに使用する	キャラクタの向いた方へのアイテム使用の決定
Bボタン	選択事項の取り消しと前画面に戻るときに使用	アイテム選択用カーソルの出現と取り消し
スタートボタン	Ⓐボタンと同じく選択事項の決定に使用	手詰まりになったときに使用すると自爆する
セレクトボタン	1～5番のどれでプレイをするか選択するとき使用	強制的にネームセレクト画面に戻る
十字ボタン	1～5番の選択と名前の入力の文字の選択・決定	キャラクタの操作とアイテムの選択に使用

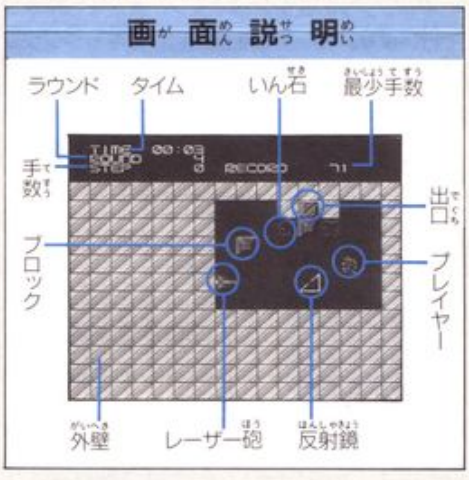
パズルモード

この「パズルモード」は全50面のどの面からでも任意に始めることができます。ラウンド選択画面で十字ボタンの上下左右で選択、Ⓐボタンで決定です。



「ゲームモード」とこのモードのルールの大きな違いは、まずアイテムがないということです。「ゲームモード」のようにジャマなブロックをアイテムで破壊する、といったことはできません。ひたすら押すことだけです。また、各面にあるいん石は、すべて破壊しなければ脱出できません。ただし、時間制限はないのでじっくりと考えることができます。そのかわり手数が10000手になるとミスになります。もし最少手数でクリアするとラウンド選択画面で名前を入力できます。

画面説明



各ボタンの使い方

ボタン	ラウンド選択画面	ゲーム画面
Aボタン	プレイする面の決定、名前入力後の決定に使用	まちがえて何か押してしまったときに一手戻す
Bボタン	前のメニュー画面に戻りたいときに使用する	使用しない
スタートボタン	Ⓐボタンと同じく、各事項の決定に使用する	強制的にラウンドセレクト画面に戻る
セレクトボタン	画面に表示された面のうちでプレイする面を選択	強制的にラウンドセレクト画面に戻る
十字ボタン	左右に動かすことで他の面の選択ができる	プレイヤーを操作するために使用する

エディットモード

「エディットモード」は、単にゲームをするためだけのモードではありません。ラウンド1～10までを使い、自分の思いどおりの面を作るためのモードです。

ルールは「パズルモード」に準じているのでアイテムはありません。いん石もすべて破壊します。

セーブについて

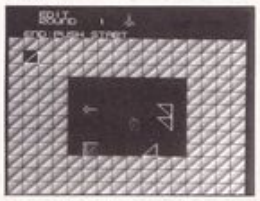
「ゲームモード」「パズルモード」そして「エディットモード」はそれぞれのデータをディスクカードにセーブすることができます。「ゲームモード」はクリアした面やスコアなどを5人分、「パズルモード」では全50面の最少手数を、「エディットモード」は全10面分のエディットした面のデータと最少手数を記録できます。なおセーブはモード選択画面の「セーブ」を選択し行います。

ロードについて

このゲームではプレイの続きをするときにロードのための特別な操作はありません。各モードともモード選択画面でプレイしたいモードを選択し、各モードの手順に従えばそのまま続きをプレイすることができます。

なお「SET SIDE B」と表示されているときにIIコントローラーのⒶⒷ各ボタンを押したままディスクカードを裏返すとデータが初期化されます。

エディット開始



モード選択画面で「エディットモード」を選択したら、どの面をエディットするかをラウンド選択画面で決めます。Ⓐボタンで決定すると、いよいよエディット開始です。

エディットは画面上のカーソルを十字ボタンで操作し、置くキャラクタの変更はⒷボタン、決定をⒶボタンで行います。カーソルを空白にしてキャラクタに重ねてⒶボタンを押すとキャラクタが消せます。

各ボタンの使い方

ラウンド選択画面

ボタン	機能
Aボタン	1～10面のエディットしたい面の決定に使用
Bボタン	エディットメニューに戻るときに使用
スタート	Ⓐボタンと同じくエディットしたい面の決定に使用
セレクト	エディットしたい面の選択に使用する
十字ボタン	セレクトボタンと同じくエディットする面の選択に使用

ゲーム画面

ボタン	機能
Aボタン	各キャラクタの配置の決定に使用する
Bボタン	配置するキャラクタ（空白を含む）の選択に使用する
スタート	エディットの終了及びラウンド選択画面に戻るとき使用
セレクト	使用しない
十字ボタン	キャラクタ配置用のカーソルの移動に使用する

これだけは守ろうディスクカードの取り扱い方

ディスクカードはカートリッジより、デリケートです。注意を守って大切に扱ってね！

●ディスクカードは、湿気や暑さのない風とおしのよいところに保管してください。

●ディスクカードはホコリにも弱いのです。保管場所はいつもきれいに。

●必ずプラスチックのケースに保管して、踏んだり曲げたりしないように気をつけましょう。

●ディスクカードの窓からみえる茶色の磁気フィルムの部分は、絶対に指などで触れないでください。もちろん、その部分を傷つけたり汚したりしてもいけません。

●磁石はディスクカードの命取りになります。磁石を近づけるとデータが消えてしまいます。ラジオ、テレビなどにも磁力があるので十分気をつけてください。

ディスクドライブの赤ランプがついているとき、EJECTボタンや本体のRESETボタン、電源スイッチに触れないでください。ディスクシステムの説明書もよく読みましょう。

ディスクシステムが正常に動作しないとき

君のディスクシステムで、画面に異状を知らせるエラーメッセージが出たら、下の表を参考にして原因を調べましょう！

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードが正しくセットされていない。カードを取り出し、もう1度やりなおしです。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下になっている。乾電池を新しいものと交換しましょう。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れている。ほかのカードを使うか、ツメのところにテープをはる。
ERR.04	違ったメーカーのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめましょう。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクカードがセットされている。カードのゲーム名を確かめてください。
ERR.06	違ったバージョンのディスクカードがセットされている。
A-B SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされている。カードを確かめてください。
ERR.08	違った順番のディスクカードがセットされている。カードをセットする順番を確かめましょう。
ERR.20～40	ディスクカードを買ったお店か、発売元へ相談しましょう。

使用上の注意
- ●ご使用後はACアダプターをコンセントから必ず抜いておいてください。
- ●テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。
- ●長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10～15分の小休止をしてください。

ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

ファミマガDisk Vol.2 Panic Space

制作／徳間書店インターメディア株式会社
〒105 東京都港区新橋4-10-7 TEL.03(432)4471
発売／株式会社徳間書店
〒105-55 東京都港区新橋4-10-1 TEL.03(433)6231

禁無断転載

GAME IDEA／TAO KOHJI
©1990 TOKUMA SHOTEN INTERMEDIA